

WHITEBOARD

心の測定：操作的に定義する

心は

大きさ 重さ

をもたない

⇒「科学にはなりえない」
by カント

ないかもしれないものを
あるかもしれないとしてみる

⇒ 15% の
錯視

このやり方
||
心理学

数値化のノウハウ

- ・実験
- ・観察
- ・内観報告



脳活動を測っても
心は直接測れない



KEYWORDS

数値化 統計 自然科学 カント ミュラー・リヤールの錯視 錯視
 量 心理量 操作的定義 指標 実験手続き 測定方法 実験
 内観報告 観察 尺度 間隔尺度 比率尺度

WHITEBOARD

知覚心理学の謎：「世界はそのまま見えているか？」
⇒NO！「目の前にあるもの」と「見えているもの」は違う！

目の前にあるもの
(客観=物理)

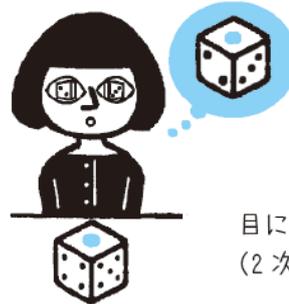
見えているもの
(主観=心理)



「なぜそう見えるのか」を調べる：知覚心理学

目は2つあるのになぜ世界は1つに見える？

見えているものは1つ



目には2つの像
(2次元網膜像)

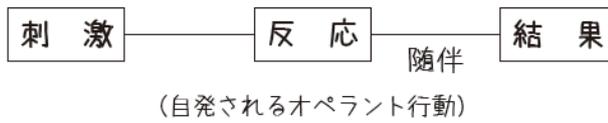
⇒左右の像の違いから立体が見える

KEYWORDS

知覚 認知 視覚 盲点 視野 網膜 中心視野 周辺視野
錐体細胞 桿体細胞 奥行き 両眼視差 奥行き手がかり 調節
輻輳 運動視差 陰影 遮蔽 テクスチャの勾配

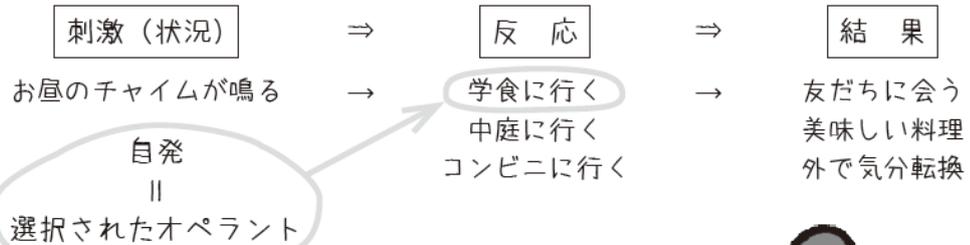
WHITEBOARD

オペラント：自発されるすべての行動
→ オペラントには必ず「結果」が伴う

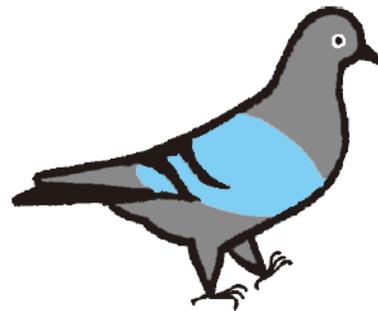


三項随伴性

オペラントの
自発頻度を上げる
=強化



「心の中での因果関係」は
真の因果関係ではない



KEYWORDS

学習 行動 レスポンデント オペラント 誘発 自発 行動変
 容 スキナー 学習の履歴 ソーンダイクの問題箱 オペラント・レ
 ベル 刺激 反応 結果 三項随伴性 随伴性 強化子

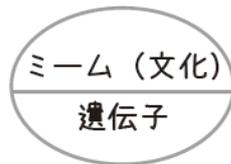
WHITEBOARD

涙を流す



- how : 状況の認知により, 脳からの指令で涙腺から液体
↑メカニズム (どうやって?) を問う心理学の考え方
- why : 他者の攻撃行動を抑制? → 生き残りやすい
↑「目的 (機能)」を問う進化心理学の考え方

ヒトの進化は文化と遺伝子による



- ……観察学習により同世代に伝達
- ……親から子へのみ伝達

観察学習の基礎

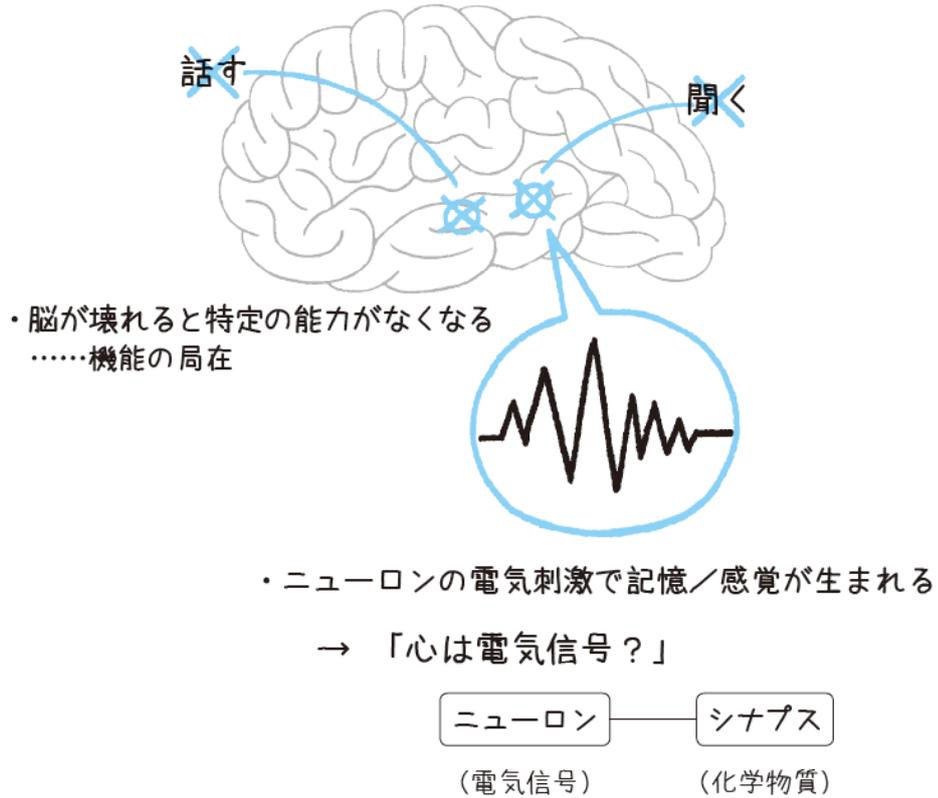
- ・自己認知
- ・演技
- ・教える - 学ぶの関係

KEYWORDS

進化 適応 変異 適応度 自然淘汰 遺伝子 形質 文化的な進化 ミーム 文明圏 水平伝播 道具使用 観察学習 バン
 デューラ 促進 模倣 積極的な教育 教える - 学ぶ 自己認知
 口紅課題 演技 他者

WHITEBOARD

「主観」が脳という物質と関連している？



KEYWORDS

脳 脳損傷 大脳新皮質 後頭葉 側頭葉 頭頂葉 前頭葉
半側空間無視 背側経路 腹側経路 ニューロン シナプス 神経
回路網 (ニューラル・ネットワーク) 樹状突起 軸索 活動電位
神経伝達物質 ドーパミン 報酬系 心身一元論 心脳問題 (心身問
題) 心身二元論

WHITEBOARD

Q. 心理テストは当たるのか？

A. 当たるテストをつくるのは難しい

信頼性：何回やっても同じ結果を得られるか？

妥当性：測りたいものを測れているか？

性格の理論

類型論：タイプで分ける



闘士型

細長型

特性論：パラメータで記述

優しさ + 4

知的 + 6

* 科学的根拠のない類型論に注意!!

・ 知能検査の種類

(ビネー式, ウェクスラー式など)

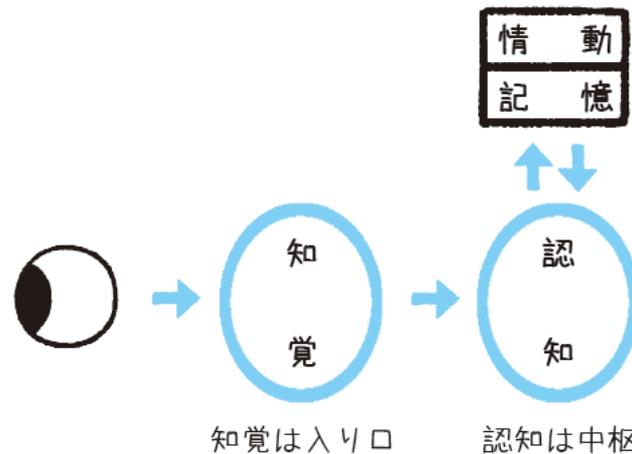
KEYWORDS

個人差 心理検査 逆転項目 信頼性 妥当性 内的妥当性
 基準関連妥当性 構成概念妥当性 ミネソタ多面人格目録 (MMPI)
 性格 類型論 特性論 クレッチマー シュプラランガー オルポート
 ビッグ・ファイブ 知能検査 ビネー式知能検査 知能指数 (IQ)
 ウェクスラー式知能検査 K-ABC 心理・教育アセスメントバッテリー
 カウフマン 質問紙法 投影法 YG テスト ロールシャッフテスト
 TAT P-F スタディ

WHITEBOARD

認知心理学では人間をコンピュータに喩える

(記憶の事例：長期記憶—HDD 短期記憶—メモリ)



「認知の仕組み（アーキテクチャ）を探る」

反応時間から探る — 直列処理 ←時間がかかる
 — 並列処理 ←短い時間で見つかる

画像の違いに気づくか？ { トップダウン処理
 ボトムアップ処理

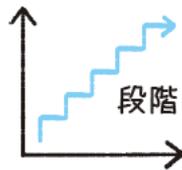
KEYWORDS

情報処理過程 認知科学 反応時間 視覚探索課題 直列処理 並列処理 刺激間隔 ボトムアップ処理 トップダウン処理 注意 知識 記憶 記録 保持 想起 符号化 貯蔵 検索 長期記憶 短期記憶 手続的記憶 宣言的記憶 感覚記憶 作業記憶 (ワーキングメモリ) 海馬 鏡映像描写 ロフトス フラッシュバルブ記憶

WHITEBOARD

従来の発達観

段階的に発展していくイメージ

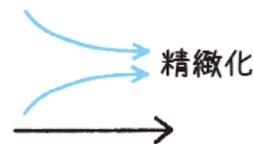


円環状に繰り返すイメージ



新しい考え方：脳科学的発達観

「失うことで能力を獲得する」



- ・知覚的狭窄化によって失うもの……例：サルの顔の識別能力
LとRの音声の区別の能力
⇒これにより精緻な顔認知／精緻な言語能力を獲得
- ・シナプスの刈り込み＝ニューロンとシナプスは、ある年齢までは増大し、その後シナプスのみ減少
⇒この刈り込みにより能力が精緻化する

発達心理学の問い：「氏か育ちか？」「ヒトの能力は生まれつきか？」

- ・臨界期と敏感期
- ・生まれつきの能力と環境の双方が重要

KEYWORDS

発達 ピアジェ 発達段階論 エリクソン ライフサイクル ライフタスク パスカリス 知覚的狭窄化 シナプスの刈り込み 環境 学習可能性 臨界期 敏感期 選好注視法 馴化法

WHITEBOARD

感情とは何か？

目に見えない，実験室で再現が難しい

「表情は感情をそのまま表出するもの」(by エクマン)

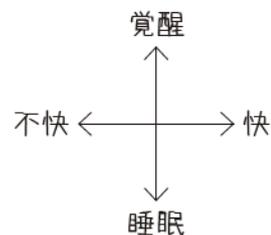
文化によらず共通の基本6感情：幸福，怒り，悲しみ，嫌悪，驚き，恐怖



「感情＝表情ではない」(by ラッセル)

文脈，文化の影響も

快 - 不快 × 覚醒 - 睡眠 (by シュロスバーグ)



・なぜネガティブな感情があるのか？

⇒環境の中にある有害な情報に素早く対処するのに役立つ

・感情と認知は関連 (気分一致効果，ネガティビティ・バイアス)

KEYWORDS

感情 表情 (顔面表出) エクマン 基本6感情 フリーセン 感情語
 コンテキスト (文脈) ラッセル 表示規則 シュロスバーグ
 快 - 不快 覚醒 - 睡眠 シュロスバーグの円環 気分 情動 気分
 一致効果 状態依存記憶 凶器効果 ネガティビティ・バイアス 単
 純接触効果

WHITEBOARD

人の印象はどのように形づくられるのか？

- ・行動から推測
 - ・いいことをした人はいい人：内的帰属
 - ・いい行動はその人の性格以外の原因による：外的帰属
- ・その人が属する集団によるステレオタイプ
(シンプルな情報処理)
- ・外見から判断

文化により知覚・認知が異なる

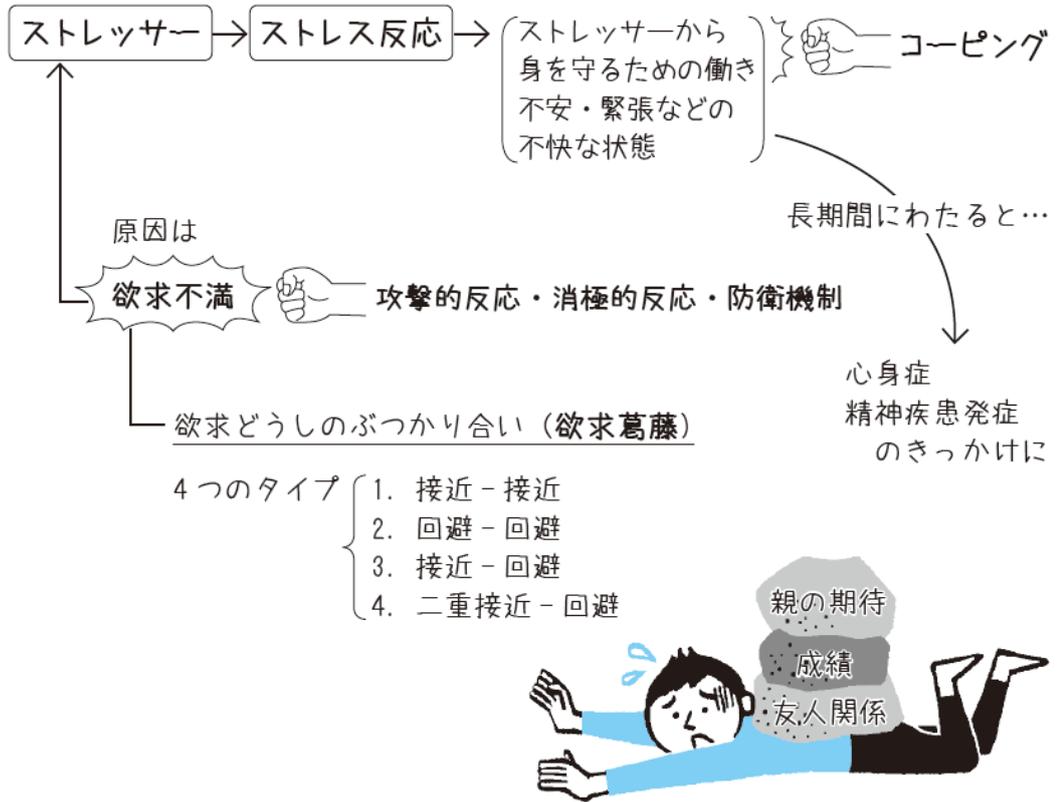
- ・西洋 vs 東洋
(相互独立的) (相互協調的)
(自己観) (自己観)
- ・言葉の影響：サピア=ウォーフ仮説



KEYWORDS

印象形成 特性推論 内的帰属 外的帰属 対応バイアス ステレオタイプ カテゴリー 偏見 差別 利用可能性ヒューリスティック 錯誤相関 同化 対比 外集団 外集団均質性効果 内集団 内集団バイアス (内集団ひいき) 自己観 ニスベット 文化差 サピア=ウォーフ仮説 カテゴリカル色知覚

WHITEBOARD



☆そもそも何がストレッサーとなるかは考え方で決まる (ストレスの認知的評価モデル)

KEYWORDS

ストレス ストレス反応 セリエ ストレッサー ライフイベント
 欲求不満 攻撃的反応 消極的反応 防衛機制 接近欲求 回避欲求
 葛藤 カーネマン コントロール可能性 予測可能性 ラザルス
 フォルクマン ストレスの認知的評価モデル セリグマン 楽観主義
 コーピング 問題焦点型コーピング ソーシャルサポート 情動焦点型コーピング
 統合失調スペクトラム症 陽性(陰性)症状 双極症

WHITEBOARD

定型発達

非定型発達

「発達」：主に遺伝的要因が時間とともに発現すること
⇒育て方によって発達障害になるわけではない

「障害」：欠損ではなく、環境への不適応

発達障害の3つのグループ

- ・自閉スペクトラム症
- ・注意欠如多動症（ADHD）……不注意優勢型と衝動性優勢型
- ・限局性学習症……算数障害，読字障害など

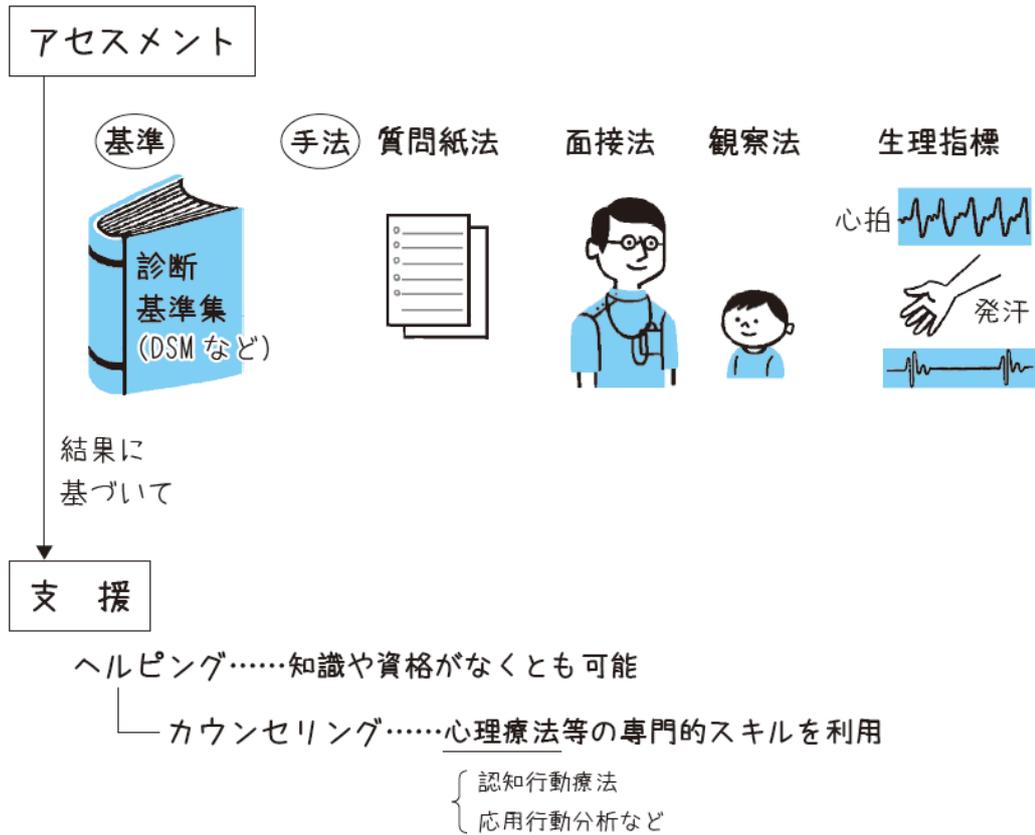
＋知的障害……知能検査により定義

発達障害は診断基準（DSM等）が改訂されるたびに変わっていく
：歴史的な概念

KEYWORDS

定型発達 非定型な発達 DSM 発達障害 遺伝に基づく脳の障害
神経発達症 不適応 限局性学習症（SLD） 自閉症（自閉スペクトラム症）
注意欠如多動症（ADHD） 知的発達症 ウィング 併存
ウィリアムズ

WHITEBOARD



KEYWORDS

心理アセスメント 心理検査 知能検査 性格検査 発達検査 質問紙法 面接法 観察法 投影法 光トポグラフィ DSM カウンセリング 心理療法 認知行動療法 応用行動分析 エリス 論理療法 不合理な信念 系統的脱感作法 不安階層表 リラクゼーション 自律訓練法 TEACCH プログラム 自傷行動 エビデンス ベースト 二次障害